

Ⅱ 英語科の問題と 調査結果・分析等

分析ページの構成と見方について

1 「設問のねらいと評価」について

「大問・領域」には1 ～ 10 までの大問ごとに、その「言語活動の内容」と「能力」を示した。「設問のねらい」には、小問ごとの設問のねらいを、「評価」の項目には、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「表現の能力」「理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」の4 観点に該当するものを○印で示した。

2 「調査結果の分析と指導のポイント」について

調査結果の分析については、「全体（教科全般）」「領域別（領域や内容別）」「継続して見られる課題（過去4 年間の継続課題）」を示し、指導のポイントについては、今回の調査結果を踏まえた指導上の改善点を示した。また、文末の「p. ○参照」は、次の3 「領域別調査結果の考察と指導のポイント」の内容との関連箇所を示している。

3 「領域別調査結果の考察と指導のポイント」について

大問ごとに設問・正答・結果・誤答例等について左ページに、その考察（概要・指導のポイント）について右ページに記した。

（※誤答例は、抽出生徒の主な誤答について頻度の高いもの）

1 設問のねらいと評価

大問・領域	小問	設問のねらい	観点別評価			
			関 意 態	表 現	理 解	言 ・ 文
①リスニング（聞き取りの能力）	(1)	英語での話しかけに対して適切な応答を選ぶことができる。				
	(2)				○	
	(3)					
②リスニング（聞き取りの能力）	(1)	絵の内容に合っている英文を選ぶことができる。				
	(2)				○	
	(3)					
	(4)					
③リスニング（聞き取りの能力）	(1)	会話を聞いて、何について話しているのか、その会話の概要や、要点を理解できる。				
	(2)				○	
	(3)					
④対話文の読解（読解の能力）	(1)	英語の対話を読んで、その中から情報をつかみ、内容に合う絵を選ぶことができる。				
	(2)				○	
	(3)					
	(4)					
⑤手紙文の読解（読解の能力）	(1)	英文の手紙を読んで、手紙が書かれた目的やその内容について、概要や要点を理解できる。			○	
	(2)					
⑥対話に合う文の選択（対話の流れや場面の理解）	(1)	英語の対話を読んで、場面を理解し、対話の流れに合う文を選ぶことができる。			○	○
	(2)					
⑦対話に合う慣用表現の選択（慣用表現等の知識）	(1)	英語の対話を読んで、場面を理解し、場面に応じた慣用表現（きまり言葉）を選ぶことができる。			○	○
	(2)					
⑧知人を紹介する文章の作文（表現の能力）		知人紹介の内容を考えて英語で書くことができる。	○	○		
⑨絵の内容に合う文の作文（表現の能力）		絵の内容に合った英文を書くことができる。		○		
⑩語句の整序問題（文法・語順についての理解）	(1)	与えられた英語の語句を並べ替えて、正しく書くことができる。				
	(2)			○		○
	(3)					

2 調査結果の分析と指導のポイント

(1) 調査結果の分析

全体	◇全体的な正答率は75%とおおむね満足できる。 ◇英語そのものを聞き取る力は、十分身に付いている。 ◆英文を読み、そこから情報を得る力が不足している。
領域別	<聞き取りの能力> ◇聞いた英文を視覚的に理解し、文字を介することなく英文の内容を理解する力が多くの生徒に身に付いている。 <読解の能力> ◇文中のキーワードとなる部分を見つけ、それを絵や表と照らし合わせて、英語が使われている場面の判断をする力はおおむね身に付いている。 ◇英文の概要（書かれた意図等）を読み取る力はおおむね身に付いている。 ◆英文全体を細かく正確に読み取る力については、不十分である。 <対話の流れや場面の理解・慣用表現等の知識> ◇日常生活の中で使うことの多い挨拶等の慣用表現については、よく理解されている。 ◆英語特有の紛らわしい表現についての理解が、不十分である。 <表現の能力> ◆現在進行形の英文を書く上で必要な文法的知識に関する理解が、不十分である。 ◆自分以外の誰かを紹介する英文を作るのに必要な、三単現のSのルールやbe動詞と一般動詞の使い分けに関連した文法事項の定着が不十分である。 <文法・語順についての理解> ◆英語特有の、後置修飾や定冠詞theの使い方に関連した文法事項の定着が不十分である。
継続課題見	◆英文を読み取る力が不足していること。 ◆「of」を用いた修飾構造の理解度が低いこと。 ◆特に現在進行形の英文について、文法上のルール等（be動詞と一般動詞の違い等）に関する理解が低いこと。 ◆英文を書く活動については無答率が高く、苦手意識を持つ生徒が多いこと。

(2) 指導のポイント

<聞き取りの能力> ○日常会話での英問英答に慣れ親しませる工夫をする。 ○代名詞が指し示すものは何かという点に注意させながらの練習を多く取り入れる。 <読解の能力> ○英文を読む活動を取り入れ、代名詞の指し示すものに注意を向けさせる等、英文の読み取り方のポイントを指導しながら、反復練習させる課題を与える。 (報告書p.9「具体的な指導例1, 2」参照) <対話の流れや場面の理解・慣用表現等の知識> ○英語特有の言い回しを、場面設定を変えながら使いこなす練習をさせる。 <表現の能力> ○「書きたい」というモチベーションを高める工夫をしながら、授業内で書く活動を多く取り入れていく。また、長い英文を書くための文章構成の仕方についての指導も同時に行っていく。(報告書p11.13「具体的な指導例」参照)
--

3 領域別調査結果の考察と指導のポイント

(1) 「聞き取りの能力」

領域別正答率「聞き取りの能力」H20:81%、H19:81%

大問・領域	小問	問 題	正答	主な誤答例	正答率 の	正答率 市の	正答率 市の
① リスニング (聞き取りの能力)	(1)	Who is that tall boy? ア He is tall. イ He has short hair. ウ He is five. エ He is Hideki.	エ	ア、ウ		52	3
	(2)	Summer is a nice season. Do you like it? ア Yes. I like fall. イ No. I don't like summer. ウ Yes. It's winter. エ No. It's summer.	イ	ア、エ		64	2
	(3)	Well, here we are. Let's have lunch. ア Nice to meet you. イ You're welcome. ウ Be careful. エ All right.	エ	イ、ウ		80	2
② リスニング (聞き取りの能力)	(1)	ア The cat is on the desk. イ The cat is under the desk. ウ The cat is by the desk. エ The cat is in the desk.	イ	ア、エ		80	1
	(2)	What time is it now? ア It's three fifty. イ It's five thirty. ウ It's three fifteen. エ It's three five.	ウ	ア		77	1
	(3)	This man is my friend, Yuji. ア He can play the guitar well. イ He can swim fast. ウ He can cook well. エ He can run fast.	エ	イ		82	1
	(4)	Mika likes sports. ア She is watching a baseball game now. イ She is playing baseball now. ウ She is looking at a picture of a baseball now. エ She is listening to a baseball game now.	ウ	ア、イ、エ		88	1
③ リスニング (聞き取りの能力)	(1)	何をしているときの会話ですか。 A: Hello. B: Hello, Mike? This is Yumi. A: Hi, Yumi. ア 電話をしているときの会話 イ 道案内をしているときの会話 ウ 料理をしているときの会話 エ 買い物をしているときの会話	ア	エ、イ		94	1
	(2)	どのような場面での会話ですか。 A: Two apple juices and one hamburger, please. B: Here you are. 500 yen, please. A: Thank you. ア 銀行での会話 イ 台所での会話 ウ 店での会話 エ 郵便局での会話	ウ	イ		96	1
	(3)	何についての会話ですか。 A: What is your favorite sport? B: Tennis. I usually play tennis on Sundays. A: Oh, really? I like tennis, too. B: Let's play tennis next Sunday. ア 趣味についての会話 イ 食事についての会話 ウ 授業についての会話 エ 学校についての会話	ア	エ		96	1

(1) 結果の概要

放送問題 1 2 3 の正答率は81%で、内容の大意を聞き取る力はおおむね身に付いていると思われる。

- 1 英語の質問に対して、正しい応答の英文を選ぶ問題で、正答率は65.3%と、他の問題に比べて低い結果となった。これは、相手の問いかけを聞き取り、更に限られた時間内にその答えの英文を読み取って適切な答えを選択するものであり、聞く力と読み取る力の両方を要求されるために生徒にとって難易度が高くなったと考えられる。
- 2 短い対話文を聞いて、その場面を表す絵を選ぶ問題の正答率は、81.8%と高かった。聞いた英文を視覚的に理解し、文字を介することなく英文の内容を理解する力が多くの生徒に身に付いていると思われる。
- 3 英語の会話を聞いて、その内容を日本語で選択する問題で、正答率は95.7%と非常に高い結果となった。場面や話題の中心が何であるかについて理解する力は身に付いていると思われる。

正答率が低かった問題についての考察

1 の(1) 正答率52%

放送文 Who is that tall boy?

正答選択肢の文

○ He is Hideki.

× He is tall.

× He is five.

Who ～ ? を用いた疑問文に対する様々な答え方(この問題では人名)が十分に定着していないと思われる。そのために容姿や年齢を答える誤答が多く見られた。

2 の(2) 正答率64%

放送文 Summer is a nice season. Do you like it?

正答選択肢の文

○ No. I don't like summer.

× Yes. I like fall.

× No. It's summer.

Do you ～ ? に対して Yes / No を選ぶ形式であるが Do you like it? で何を聞かれているのか理解できていないため、どれが正しい受け答えか判断できなかったと考えられる。また、自分の好きな季節をたずねられたものと思ってしまう、I like ～. のある肯定文を選択してしまった生徒が多かったと考えられる。

(2) 指導のポイント

① 日常会話での英問英答に慣れ親しむ工夫

日常会話での英問英答に慣れ親しむ工夫が必要である。そして、答える際も単語ではなく、会話を発展させる情報を含んだ言い方(プラス1文)を加えて言語活動をさせていく工夫が重要である。

その際、幅をもたせながらその場にあった「適切な応答」ができるように、いろいろなパターンを紹介していくことが理解の定着を図る一助となると考える。

② 代名詞の指導

代名詞が指しているものが何なのかを正しく理解しながら、聞いたり読んだり、質問に答えたりする練習を多く取り入れることが必要である。

③ 繰り返し使う体験

基本的な会話表現や慣用句を繰り返し使う体験をさせるとともに、英語の自然なスピードやリズムに慣れさせることも、オーラル面では重視していく必要がある。

(2) 「読解の能力」

領域別正答率「対話文の読解」H20:78%、H19:81%

大問・領域	小問	問 題	正答	主な誤答例	正 自 答 率	正 答 率	無 答 率	市 の
④ 対話文 の読解（読 解の能力）	(1)	会話の内容からグリーン先生の日曜日の過ごし方を選ぶ。 Ken: What do you do on Sundays? Ms. Green: I go to the park and walk. Ken: You are a good tennis player. Do you play tennis on Sundays? Ms. Green: No, I play it on Saturdays. Ken: Oh, I see. Do you listen to CDs on Sundays? Ms. Green: No, I don't. I play the guitar. Ken: Oh, so you can play the guitar well. Do you watch TV on Sundays? Ms. Green: Yes, I watch it in the evening. I read books in the evening, too.	ア	イ		79	1	
	(2)	会話の内容から、二人で見ている写真を選ぶ。 Tom: Look at these pictures. Emi: Oh, a girl is watching a soccer game. Who is she? Tom: That's my sister, she likes soccer very much. Emi: Who is playing the guitar? Tom: That's my brother. He can play the piano, too. Emi: Oh, really? Are these people your father and mother? Tom: Yes, they're cooking dinner in the kitchen.	ウ	エ		70	1	
	(3)	和夫の部屋だと思われる絵を選ぶ。 Peter: Oh, you have a nice room. Kazuo: Thank you. Peter: Is that your computer? Kazuo: Yes, it is. Peter: I see two baseball caps on the TV. Are you a member of the baseball team? Kazuo: Yes, I am. Peter: Oh, you have a lot of balls. Kazuo: Yes, I play baseball every day. Look, this is my cat, Tama. Peter: Hi, Tama.	イ	ウ		80	1	
	(4)	政夫がもらったプレゼントの絵を選ぶ。 Mike: Masao, this is for you. Masao: Thank you very much. Mike: You really like English and music, so I bought it for you. Masao: Can I open it? Oh, this is nice. Mike: You can listen to music songs. Masao: Great.	エ	イ		84	1	

4 5 読解の能力

(1) 結果の概要

読解の能力を問う問題である[4]の正答率が78%である一方、[5]全体の正答率は47%と大きな開きが見られた。個々の問題の正答率を見ても、[4]の4題とも[5]の2題を上回っている。

[4] 表や絵を見ながら対話を読み、対話の内容にあう絵を選ぶ問題である。
どの問題も正答率が比較的高いことから、対話文の中のキーワードとなる部分と絵や表を照らし合わせ、正しいものを絞り込んでいく力は多くの生徒が身に付いていると言える。

[5] 文字のみから内容を読み取る問題である。[4]に比べ絵や図表に頼ることができず、英文全体を正確に読み取り、内容を把握する必要があるため、正答率は[4]よりも低くなっている。

[5]の正答と、多かった誤答

(1) 英文が書かれた目的は何かを選択肢より選ぶ(書き手の意図を読み取り理解する問題)

正解率65%

正 答: ア 最近の自分の様子を報告するため

多かった誤答: イ “ohanami”に誘うため

: ウ 日本語を教えるため

(2) 本文の内容と合うものを選択肢より選ぶ(英文の内容を正しく読み取る問題)

正解率28%

正 答: エ BillはJudyに自分の家族が写っている写真を送った。

多かった誤答: ウ JudyとKumiは学校で“ohanami”をした。

: ア JudyはBillに誕生パーティの写真を送った。

誤答の様子を見ると(1)では“ohanami”という単語を見つけ、それに関連したイの選択肢を選んだ誤りが、また、“Japanese”という単語を見つけ、それに関連したウの選択肢を選んだ誤りが考えられる。

(2)ではthereの意味が分からず、学校でしたというウの選択肢を選んだと考えられる。

また、手紙の差出人と受取人を単純に間違えていると思われる生徒が多い。手紙文は教科書の中でも各学年取り扱われているが、Dear(受取人) Your friend(差出人)の関係を理解させることが必要である。

(2) 指導のポイント

① 反復練習させる課題の設定

読解の能力を高めるために、語彙や文の構造などの言語に関する知識を確実に定着させることが大切である。生徒に自主的に、また継続的に反復練習させる課題を与える工夫が必要である。

② 内容を把握する学習

まとまった文章を読み、その内容を把握する学習を取り入れる。教科書にある英文だけではなく初見の英文で、英文全体を正確に読み取る学習を取り入れていく。「行動者が誰なのか」「どう考えているのか」等について、考えさせるなどの課題を設定する。

<具体的な指導例 1>

学習活動	指導上の留意点等
1. 本時の重要文が理解できたかどうか、プリント等で確認する。	
2. 文法の練習が終わった後で、教師作成の英文問題を読んで答える。	<問題作成のポイント> ・本時の重要文のkey sentenceを入れる。 ・代名詞の内容を問うような設問。 ・生徒の興味関心をひく身近な内容。 ・教科書とは関係のない内容のもの。

<具体的な指導例 2>

学習活動	指導上の留意点等
1. ALT自作の英文を読む。(自己紹介・出身地・年中行事等について)	
2. 内容に関する質問に答える。	・答え合わせの際に、ALTに写真等を用いて分かりやすく説明してもらう。

(3) 「対話の流れや場面の理解」
「慣用表現等の知識」

領域別正答率

「手紙文の読解」H20:47%、H19:67%
「対話の流れや場面の理解」H20:59%、H19:60%
「慣用表現等の知識」H20:89%、H19:82%

大問・領域	小問	問 題	正答	主な誤答例	正 自 答 校 率 の	正 市 答 率 の	無 市 答 率 の
⑤ 手紙文 の読解（読 解の能力）		Dear Bill, How are you doing? Thank you for your letter. I got it yesterday. I liked the picture of your birthday party. You and your family looked happy. I am having a good time in Japan. I have a good friend. Her name is Kumi. Last Sunday, we went to a big park near our school. The park had a lot of beautiful cherry blossoms. We saw a lot of people there. They had a picnic under the cherry blossoms. The picnic is "ohanami" in Japanese. We had a nice time. Your friend, Judy					
	(1)	英文が書かれた目的は何か。 ア 最近の自分の様子を報告するため イ "ohanami" に誘うため ウ 日本語を教えるため エ 誕生パーティに誘うため	ア	イ		65	2
	(2)	本文の内容とあうもの一つ選ぶ。 ア JudyはBillに誕生パーティの写真を送った。 イ JudyとBillは先週の日曜日に一緒に公園に行った。 ウ JudyとKumiは学校で "ohanami" をした。 エ BillはJudyに自分の家族が写っている写真を送った。	エ	ウ、ア		29	3
⑥ 対話に 合う文の選 択（対話の 流れや場面 の理解）	(1)	対話文中にあてはまる文を選ぶ。 Susan: Mom, I'm hungry. Mother: Dinner is ready. Come and eat. Susan: O.K. () Mother: We have curry and rice for dinner. Susan: Great! ア I'm going. イ I'm coming. ウ Here you are. エ Can you cook?	イ	ア		44	2
	(2)	対話文中にあてはまる文を選ぶ。 James: Excuse me. Where is City Hall? Taro: City Hall? () I'm going there, too. James: Really? Thank you very much. Taro: You're welcome. Let's take Bus No. 7. James: How long does it take? Taro: About 10 minutes. ア Sorry, I'm busy. イ I don't know. ウ Here we are. エ Come with me.	エ	ウ		74	2
⑦ 対話に 合う慣用表 現の選択 （慣用表現 等の知識）	(1)	対話文中に合う慣用表現等を選ぶ。 Bill: Mike, this is my friend, Taro. Mike: Hi, Taro. I'm Mike Brown. Nice to meet you. Taro: () ア See you. イ Oh, I see. ウ Nice to meet you, too. エ Yes, please.	ウ	ア、イ		92	1
	(2)	対話文中に合う慣用表現等を選ぶ。 Ann: () Koji: Yes? Ann: Where is the hospital? Koji: It's over there. ア Pardon? イ Excuse me. ウ I'm sorry. エ How about you?	イ	エ、ウ		87	1

(1) 結果の概要

⑥ 対話文を読んで、その流れや場面を把握し対話が自然に流れるように、適切な文を選ぶ問題である。(1)の正答率は44%、(2)は74%であった。(1)は「夕飯の準備ができたので来て食べなさい。」というセリフのあとに「今、行くよ。」と答える問題であったが、「行く」という日本語につられ、“I'm going.”を選んでしまった。一方(2)は前後関係の意味も理解しやすく、選択肢の中からも状況にあった文を適切に選ぶことができたと考えられる。

⑦ ⑥と同様に対話文の場面を把握し、それに応じた慣用表現を選ぶ問題である。(1)の正答率は92%、(2)は87%と高い数値になった。(1)は友達紹介の中の対話で、“Nice to meet you.”に対する答え方を求める問題であったが、英語学習の初期に習うものであったせいか、よく理解していると思われる。

(2) 指導のポイント

場面に応じた受け答えができるように基本的な会話表現を覚える必要がある。また、英語特有の言い回しも、場面設定を変えながら使いこなす練習が必要である。

(1) 結果の概要

⑧ テーマについて4文以上で記述する問題である。正答率は49%と昨年よりも約30ポイント低くなっている。昨年度は自己紹介で書きやすいテーマであったようだが、今年度は他己紹介という設定であったためか書きにくかったようである。誤答の中には be 動詞と一般動詞の使い分けや、三単現の s など、基本的な文法理解がまだ不十分な点がみられる。

多く見られた誤答例

- | | |
|-----------------|--|
| ・ be 動詞と一般動詞の混同 | He is likes a cat. He is study ~. |
| ・ 三単現の S の欠落 | He go to ~. She have a ~. He like ~. |
| ・ 代名詞の活用 | He favorite subject ~ |
| ・ 語順 | She is of the softball team member~ |
| ・ 三単現在の否定 | He don't likes ~ She don't play swim He's don't like running |
| ・ スペリングミス | |

⑨ 絵で示された状況を、現在進行形を使って説明する問題である。正答率は昨年度より2ポイント下がり、41%だった。現在進行形の形が不十分な理解のままで終わっていると考えられる。「be 動詞+ing」の形であるが、動詞に ing を付け忘れるという誤答や三単現の s を付けた形の誤答が目立った。また、日本語の語順と同様に英単語を並べてしまった誤答もあった。

多く見られた誤答例

- | | |
|------------------------|---|
| ・ She study English. | ・ Kayoko studying English now. |
| ・ Kayoko reading book. | ・ Kayoko is English studying. ・ Kayoko is studies English. |

(2) 指導のポイント

① 書く量を増やす指導

「書くこと」の力を付けさせるためには、授業でまず書く活動を多く取り入れ、たくさん書かせることが必要である。パターンプラクティスの工夫を行い、書く量を増やす。練習した文が自然に出てくるまで繰り返し練習させることで、基本文の定着が図られると考える。

② 「書きたい」というモチベーションを高める工夫

自己紹介や他己紹介、Show and Tell など書いたものを発表につなげ、さまざまな自己表現の機会を与えて「できた」という達成感を味わわせる。また、作品を掲示することで、自分以外の作品に触れることができ、たくさんの表現の仕方を学ぶことができる。それが生徒同士の学びの場になり、書くことに対する意欲が高められると考える。

領域別正答率

(4) 「表現の能力」

「文法・語順についての理解」

「表現の能力」 H20 : 45%、H19 : 56%

「文法・語順についての理解」 H20 : 74%、H19 : 60%

大問・領域	小問	問 題	主な誤答例	正 自 答 校 率 の	正 市 答 率 の	無 市 答 率 の
⑧ 知人を紹介する文章の作文 (表現の能力)		英語で知人を紹介する。 This is (名前) . He / She に続けて4文以上書く。 <正答例> This is my friend, Naoya. He plays soccer very well. He is a member of the soccer club. He can play the piano, too.	He don't He favorite He go to He is music She have a She is play She is likes		49	12
	⑨ 絵の内容に合う文の作文(表現の能力)	絵を見て佳代子が今していると思われることを4語以上で書く。  <正答例> Kayoko is reading a book. Kayoko is studying English.	She study She is read She studying She is book		41	10
⑩ 語句の整序問題 (文法・語順についての理解)	(1)	与えられた語句を並べ替え、正しい文を書く。 A: Are you busy today? B: Yes, I am. But I (free /on/Friday/am). <正答> I (am free on Friday).	am Friday on free am on free Friday am on Friday free		82	5
	(2)	A: (have / do / what / you) for breakfast? B: I have rice and miso soup. <正答> (What do you have) for breakfast?	Do you have what Do you what have What you do have What you have do		87	4
	(3)	A: Do you know that tall boy? B: Yes, I do. (a member/the/is/he/of/basketball team). <正答> (He is a member of the basketball team).	誤答例省略		53	7

<具体的な指導例>

学習活動	指導上の留意点等
1. 各ユニット毎に基本表現をまとめ、反復練習を行い暗記する。	
2. 小テストを行う。	・基本表現の定着を図る。
3. 基本表現を用いた作文を書かせる。回を重ねる毎に、前回の英文に新たな英文を付け加える形式で書く。	・英作文の構成の仕方に慣れさせる。 例 < 1回目 > I am (). I am from (). I like (). < 2回目 > I am (). I am from (). I like (). I have a brother. His name is (). He likes (). His favorite song is (). < 3回目 > I am (). I am from (). I like (). I have a brother. His name is (). He likes (). His favorite song is (). I can play (). I studied () yesterday.

10 文法・語順についての理解

(1) 結果の概要

10 正答率は74%と昨年に比べ14ポイント上がった。(1)(2)の問題は正答率が81%、87%と高く、無答率は昨年とほぼ同様のことから、(1) But I (am free on Friday). (2) (What do you have) for breakfast? の英文は多くの生徒が理解していると思われる。

(3)は正答率54%と低く、例年と同様 a member of ~の後置修飾に関わる誤答と共に冠詞 the の使い方の誤りが多かった。日本語と異なる英語特有な言語材料に対する理解の困難さがうかがえる。

多く見られた誤答例

(1)(2)(3)共に日本語の語順に強く影響されているものが多かった。

(1) But I (am on Friday free).

(2) (Do you have what) for Breakfast?

(3) He is the basketball team of a member.

(2) 指導のポイント

① より実践的な英語としての反復練習

言語学習においては「繰り返し」が大切である。口頭練習の反復、基本文型の暗記、例文の提示、語彙の習得などを『読む・聞く・話す・書く』あらゆる学習活動で繰り返し練習することが必要である。場面設定や練習方法などの工夫をすることで生徒の興味・関心を維持しながら基本文型の定着を図ることができる。

② 英語特有の語順や言い回しの指導

日本語と英語の違いや、英語の語順や言い回しを教えることは文法を理解するうえでの一助となる。その際、英語の語順や言い回しを生徒に分かりやすく指導していく工夫が必要である。